

平成 2 1 事業年度

決 算 報 告 書

自 平成 21 年 4 月 1 日

至 平成 22 年 3 月 31 日

国立大学法人千葉大学

平成21年度 決算報告書

国立大学法人千葉大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	18,122	18,129	7	(注1)
施設整備費補助金	1,571	2,491	920	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,902	3,962	2,060	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	86	86	-	
自己収入	29,660	30,900	1,241	
授業料、入学料及び検定料収入	8,304	8,386	82	(注4)
附属病院収入	20,897	22,018	1,120	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	459	497	38	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,531	4,202	671	(注7)
引当金取崩	-	106	106	(注8)
長期借入金収入	2,976	2,705	271	(注9)
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	45	1,083	1,038	(注10)
計	57,893	63,663	5,771	
支出				
業務費	40,147	41,641	1,494	(注11)
教育研究経費	20,481	20,294	187	
診療経費	19,666	21,347	1,681	
一般管理費	6,448	6,167	281	(注12)
施設整備費	4,633	5,282	649	(注13)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,902	3,879	1,977	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,531	3,799	268	(注15)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,232	1,217	14	(注16)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	57,893	61,986	4,094	
収入 - 支出	-	1,677	1,677	

予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算に計上していなかった債務残を執行したことにより、予算金額に比して決算金額が7百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった補助金の増加により、予算額に比して決算金額が920百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金等を獲得したことにより、予算金額に比して決算金額が2,060百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として在籍者数が見込者数を上回ったことにより、予算金額に比して決算金額が82百万円多額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、新病棟の稼働や病床稼働率の上昇等により、予算金額に比して決算金額が1,120百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、主として講習料収入、学校財産貸付料収入、環境健康フィールド科学センターの生産品販売収入及び資金運用に伴う利息収入の増額により、予算金額に比して決算金額が38百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究・受託事業等の産学連携の推進に努めたため、予算金額に比して決算金額が671百万円多額となっております。
- (注8) 引当金取崩については、予算段階では予定していなかった退職給付引当金及び賞与引当金の執行があったため、予算金額に比して決算金額が106百万円多額となっております。
- (注9) 長期借入金収入については、事業交付決定額が減額したため、予算額に比して決算金額が271百万円少額となっております。
- (注10) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった目的積立金を取崩したことにより、予算金額に比して決算金額が1,038百万円多額となっております。
- (注11) 業務費については、主として人件費が給与改正により、当初見込額より少なかったことによる教育研究経費の減額、また附属病院収入の増収に伴う診療経費の増額により、合算して予算金額に比して決算金額が1,494百万円多額となっております。
- (注12) 一般管理費については、主として給与改正並びに退職手当の支給額が見込を下回ったことによる人件費の減額と節電・節水による経費節減等に努めたことによる減額により、予算金額に比して決算金額が281百万円少額となっております。
- (注13) 主として(注2)及び(注9)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が649百万円多額となっております。
- (注14) 主として(注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が1,977百万円多額となっております。
- (注15) 主として(注7)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が268百万円多額となっております。
- (注16) 長期借入金償還金については、一部利率の変更により、予算金額に比して決算金額が14百万円少額となっております。